

令和 7 年度

長野県公共事業 事後評価について

令和 7 年 11 月

長野県公共事業評価監視委員会

目 次

1	本年度の審議対象箇所	・ ・ ・ 1
2	事後評価に関する委員会としての意見	・ ・ ・ 2
	（1）治山事業 中条川 【栄村】	・ ・ ・ 2
	（2）抽出以外の箇所	・ ・ ・ 2
3	おわりに	・ ・ ・ 2

令和7年度 長野県公共事業評価監視委員会 意見書

～公共事業 事後評価に関する意見～

1 本年度の審議対象箇所

長野県公共事業評価実施要領第16の規定により、審議案件については、県から事後評価案の提出を受け、各事業を取り巻く社会状況等を勘案して抽出するとされている。

本年度は、表－1に示す10か所について、県から意見を求められ、全てについて資料確認した上で、詳細な審議の対象として1か所を抽出した。

表－1 意見聴取・抽出箇所

担当 部局	事業名	路河川名※	箇所名 (市町村)	事業概要	工期	最終事業費 (百万円)	県の 評価案	抽出 箇所
林務	地すべり対策		上土倉 (長野市)	アンカー工 126本 簡易法枠工 643㎡	H27～R1	240	A	
建設	急傾斜地崩壊対策等		飯田 (白馬村)	雪崩予防柵工 882m	H22～R1	1,300	A	
建設	砂防	(砂) 秋山沢	秋山 (川上村)	砂防堰堤 2基	H22～R1	888	A	
林務	治山		中条川 (茅村)	谷止工 5基、床固工 12基、 流路工 149m、吹付工 31,609㎡、 導流堤 249m、排土工 30,200m ³ 他	H23～R1	2,719	A	○
農政	農村地域防災減災		牛鹿宇山 (立科町)	ため池改修 13か所	H24～R1	724	A	
建設	道路改築	(国) 406号	村山橋 (長野市、 須坂市)	道路築造工 L=2,150m W=13.0(25.0)m	H2～R1	24,681	A	
建設	街路	(都) 内環状南線	中条 (松本市)	道路築造工 L=546m W=13.0(31.0)m	H11～R3	8,838	A	
建設	市町村基幹道路整備	(村) 北山方飯沼線	美里～飯沼 (中川村)	道路築造工 L=1,900m W=4.0(5.0)m	H23～R1	764	A	
建設	道路環境対策	(一) 芦田大屋(停)線	塩川小学校入 口 (上田市)	歩道設置工 (両側) L=600m	H24～R3	740	A	
農政	中山間総合整備		小谷 (小谷村)	農業用排水施設整備 L=2,182m、 農道整備 L=189m、ほ場整備 33.0ha、 集落道整備 L=1,095m、 他	H22～R1	1,816	A	
詳細審議箇所 計								1

[県の総合評価] 事業効果の発現状況等の評価項目を点数化し、その合計により評価 (100点満点 A: 75点以上、B: 74～50点、C: 49点以下)

※(砂): 砂防指定地 (国): 一般国道 (一): 一般県道 (都): 都市計画道路 (村): 村道

2 事後評価に関する委員会としての意見

(1) 治山事業 中条川 【栄村】

■ 審議結果 : 県の評価案を妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 長野県北部地震に起因した大規模な山地崩壊に伴う大量の崩壊土砂を除去するとともに、治山施設を整備することにより山地の安定化を図った。このことにより、下流の民家やインフラ施設の保全が図られるなど大きな効果が発現されているため。
- 事業着手後に発生した台風災害などへの対応も迅速かつ適切になされ、効果が発現されているため。

《審議上の意見》

- 緊急対応であるため難しい面もあると思うが、今後同様の災害が発生した際には、出来るだけ緑化資材を採用するなど、自然環境に配慮した工法の採用を検討いただきたい。

(2) 抽出以外の箇所

抽出以外の、地すべり対策事業 上土倉ほか8か所については、第1回長野県公共事業評価監視委員会において、県からの資料提供及び説明を受ける中で、事業効果の発現状況、事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価等から各事業の県の評価案を妥当と判断した。

3 おわりに

事業内容については、写真やグラフを活用することにより、県民目線に立ったわかりやすい資料となっている。事業完了後の効果については、事業計画時に想定した定量的な効果の検証を行うなど、評価の妥当性が誰にでも理解できるような工夫を引き続き、検討されたい。

公共事業への理解の促進と透明性の確保の観点から、この事後評価の結果も活用して、県民や地域の方々に、公共事業の概要や効果などの情報を広く発信していくことを期待する。

以 上